



海外留学でよくあるお悩み

Q. マレーシアの入試概要と大学を教えてください

A. 経済発展が目覚ましく、私大の授業はすべて英語なので全世界から留学生が集まります

詳しいアドバイス

南シナ海を挟み、マレー半島とボルネオ島北部にまたがる東南アジアに位置するマレーシア。陸地の60%が熱帯雨林と非常に自然豊かな反面、首都クアラルンプールの都市部では近代的な高層ビルやショッピングセンターなど発展しているため東南アジアの中でも住みやすい国とされています。独立前はイギリスの植民地だった名残りで国民の多くの方が英語を話せます。私立大学は授業がすべて英語ということもあり世界各国から留学生が集まります。今回はそんなマレーシアの大学入学方法や大学の特徴についてご紹介します。

マレーシアの大学概要

東南アジアの中では大学数が多い！

マレーシアには現在 20の国立大学、37の私立大学、11の海外の大学のマレーシア分校、400以上の私立カレッジが存在しています。

1996年に海外の大学の分校を含めた私立高等教育機関の設置や運営が認められるようになったため、多くの私立大学や海外の大学の分校が出来ました。

生活費や学費も欧米や日本と比べ安く、英語で質の高い教育が受けられ、他の東南アジア諸国に比べると生活の質も高いというのが人気となり、中東やアフリカなどの地域の国々からも多くの留学生が集まっています。

入学時期がたくさんある

日本の大学は一般的に4月入学ですが、マレーシアの大学は年間 2~5回の入学時期があります。マレーシアの大学の入学時期は主に 3月と8月です。

中には年8回も入学可能時期が用意されている大学、学部などがあります。

そのため、海外留学のスケジュールを組み立てやすく自分にあった計画が立てられるところも、マレーシア大学進学の魅力です。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © ㈱留学情報館 All Right Reserved





海外留学でよくあるお悩み

3年で卒業が可能だけど、結局4年は必要

日本の大学は一般的に4年制ですが、マレーシアの大学の学士課程は一般教養からではなく、すぐに専門科目を履修するため、履修期間は通常3年間です。

日本よりも短期で大学が卒業できると思われそうですが、日本人は高校の成績に関わらず、大学進学準備コース(ファンデーションコース)に1年通わなければ学士課程に進むことが出来ません。

そのため結局大学卒業まではトータルで4年かかります。

マレーシア大学の入学方法

大学入学に必要なもの

マレーシアの大学へ入学する場合、基本的に日本のような入学試験はありません。

ほとんどが高校の卒業証明書と成績証明書(ともに英文)を提出するだけで合否判定が行われます。

ちなみに一般的なマレーシアの大学合格の目安は、最終成績が5段階評価で平均3.0(または3.5)以上です。

大学や学部により多少異なりますので、出願を希望される場合は確認しましょう。

マレーシアの大学入学に必要な書類

- ・願書
- ・高校の成績証明書(和文、英文)
- ・高校の卒業証明書(和文、英文)
- ・TOEFL、IELTS等の英語スコア
- ・パスポートコピー
- ・顔写真
- ・健康告知書

マレーシアの大学入学に必要な条件

- ・学歴:高卒以上(あるいは卒業見込)
- ・成績:過去3年間の成績が5段階評価で平均平均3.0(または3.5)以上
- ・英語力:IELTS5.5、TOEFL550以上程度

マレーシアの大学の場合、条件に出ている英語力まで達していない場合は英語集中コースの該当するレベルのコースからの受講となります。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。
また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © 留留学情報館 All Right Reserved





海外留学でよくあるお悩み

マレーシア大学の3つの魅力

学費や生活費が欧米の半分

マレーシア大学進学の大きなメリットとして挙げられるのが、学費や生活費が安いことです。マレーシアの大学留学の費用は私立で年間 80万円前後、国立では 30万円からと欧米や日本に比べると非常にリーズナブルです。

欧米は年間250万円程の学費がかかりますので、半分以上まで抑えることができます。

特に英語圏の大学へ進学する場合は、学費や生活費が最低でも 3年はかかるため費用面で不安なことが多いですね。

しかしマレーシアは物価が安いことから、費用をぐっと抑えて進学することが可能です。

英語と中国語の2か国語を勉強することが出来る

マレーシアは英語だけでなく、中国語を学ぶチャンスも多くあるのが特徴です。その理由としてはマレーシアの全体の人口の約 30%、クアラルンプールやペナンなど都市部では 50%以上を中華系住民が占めているため中国も多く話されるからです。

マレーシアのいくつかの大学では中国語のコースがあり「英語＋中国語」の 2ヶ国語留学も可能です。

他国の大学への編入が可能

マレーシアの大学は他国の有名大学と提携しているところが多く、その大学への編入が可能なのも大きな魅力の一つです。

このシステムを「ツイニング」と呼び、最初は マレーシアの大学に通い、残りの期間を他国の提携大学で勉強するというものです。

1年間マレーシアの大学へ学び、残り 2年は他国の大学に通い、卒業資格は他国の大学で取ることができます。

一部期間をマレーシアで勉強することにより、学費を安く抑えられることができ、大学卒業の資格は一流の大学で取得できるシステムとして大変人気があります。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © (株)留学情報館 All Right Reserved





海外留学でよくあるお悩み

学費の安い地方都市おすすめ大学

ヘルプ大学(私立大学)

年間60万円程度の学費で学べる割安な授業料のヘルプ大学。イギリス&オーストラリアの有名校とのツインングを行っており、心理学部が看板の社会科学中心の総合大学です。

メインキャンパスは都心に近い高級住宅地付近にあります。2016年には郊外のスバンキャンパスがオープンしました。

アジアパシフィック大学(私立大学)

技術&ビジネス系学部にて定評あり。

就職率は95%。学費も年間60万円程度とリーズナブルでほぼすべての学部で英大学とのデュアルディグリーまたは3+0ツインングを行っています。

2016年に都心部から30分ほど離れたブキット・ジャリルというエリアにモダンでハイテクな新キャンパスが完成。

学校の周囲には大型スタジアムやサッカー場・ゴルフ場・プールを含む大きな公園が広がります。

FTMSグローバルカレッジ私立大学

格安な授業料と容易な入学要件が魅力の大学。現在はビジネス経営、ITコンピュータ、ホスピタリティがメインとなっています。

すべての学部で有名イギリス大学の学位が取得でき、寮の費用も格安で安心して生活できます。

キャンパスはIT郊外都市サイバージャヤへにあるため、企業との結びつきが強く就職も有利です。

東南アジアの中でも治安が良く、質の高い教育が受けられるマレーシア。

他国の有名大学へ編入できる「ツインング」など、大学生に嬉しいシステムが充実しているので費用を安く抑えつつ、人気の大学へ進学したい方にもおすすめです。

ぜひ海外の大学進学の際にはマレーシアの大学もオプションに入れてみて下さい。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にも提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。© 留學情報館 All Right Reserved

